

高知県柏島から得られた北限記録のイトウダイ科マルマツカサ

松永 翼¹・遠藤広光¹

Author & Article Info

¹ 高知大学理工学部海洋生物学研究室（高知市）
TM: kanokouo283@gmail.com (corresponding author)
HE: endoh@kochi-u.ac.jp

Received 04 August 2025
Revised 07 August 2025
Accepted 07 August 2025
Published 08 August 2025
DOI 10.34583/ichthy.58.0_17

Tsubasa Matsunaga and Hiromitsu Endo. 2025. Northernmost records of *Myripristis hexagona* (Holocentridae) from Kochi Prefecture, Japan. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 58: 17–21.

Abstract

In September of 2024, six specimens (69.8–120.0 mm standard length) of *Myripristis hexagona* (Lacepède, 1802) (Holocentridae) were collected from Kashiwa-jima island, Otsubuki Town, Hata District, Kochi Prefecture, Japan. In Japanese waters, this species was previously known from the Ogasawara, Osumi, Amami, Okinawa, and Yaeyama islands. Thus, the present specimens represent the first records from Kochi Prefecture and the northern range extension for the species.

イトウダイ科アカマツカサ属 *Myripristis* Cuvier, 1829 は三大洋の熱帯から温帯域に広く分布し、28 有効種が知られる (Randall and Greenfield, 1996; Nelson et al., 2016). このうち、日本からは 15 種、高知県からは 8 種の記録がある (平田ほか, 1996; 中坊ほか, 2001; 林, 2013; 松永ほか, 2025; 本村, 2025). マルマツカサ *Myripristis hexagona* (Lacepède, 1802) は、アフリカ東岸から南太平洋のサモアまでのインド・太平洋海域に広く分布し、日本では小笠原諸島、大隅諸島 (竹島, 種子島), 奄美群島 (奄美大島, 沖永良部島), 沖縄諸島 (沖縄島), そして八重山諸島 (石垣島, 与那国島) のいずれも島嶼から記録されている (Randall and Greenfield, 1996; 三浦, 2012; 林, 2013; 江口・本村, 2016; Nakae et al., 2018; Motomura and Uehara, 2020; 下瀬, 2021; 萩原, 2022; 望月ほか, 2022; Randall and Heemstra, 2022; Motomura, 2023).

2024 年 9 月と 10 月に高知県幡多郡大月町柏島で、マル

マツカサに同定されるアカマツカサ属の 6 標本が採集された。これらは本種の高知県かつ四国からの初記録であり、分布の北限を更新するため報告する。

材料と方法

計数・計測方法は Randall and Greenfield (1996) にしたがった。標準体長は SL または体長と、背鰭棘条部中央下の側線上方横列鱗数 (scales above lateral line under middle dorsal spines) は林 (2013) にしたがって TRac とそれぞれ略記した (Table 1). 計測はノギスを用いて 0.01 mm 単位までおこない、小数点以下第 2 位を四捨五入した。計測は原則的に左体側で、破損がある個体では右体側でおこなった。生鮮時の色彩はホルマリン固定前の標本写真、生時の写真は採集時に野外で撮影された写真にそれぞれ基づく (Figs. 1, 2). 標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村 (2009) に準拠した。本報告に用いた標本は高知大学理工学部海洋生物学研究室 (BSKU) に保管されている。

Myripristis hexagona (Lacepède, 1802)

マルマツカサ

(Figs. 1–3; Tables 1, 2)

標本 6 標本 (体長 69.8–120.0 mm, すべて高知県幡多郡大月町柏島で採集): BSKU 137101, 体長 120.0 mm, 釣り, 2024 年 9 月 18 日, 松永 翼; BSKU 137107, 体長 93.7 mm, BSKU 137108, 体長 69.8 mm, 釣り, 2024 年 9 月 26–27 日, 松永 翼ほか; BSKU 137125, 71.6 mm, 釣り, 2024 年 9 月 17 日, 平井秀典; BSKU 137642, 体長 79.5 mm, BSKU 137643, 75.9 mm, 水深 10–15 m, 釣り, 2024 年 10 月 28 日, 松永 翼。

記載 体は前方向に長い卵型で、側扁する。尾柄は細く、強く側扁し、尾柄高は尾柄長の 65.0–73.8%。体背縁は吻端から背鰭第 4 棘条基部まで緩やかに上昇し、そこから尾鰭基底にかけて下降する。体腹縁は下顎先端から腹鰭基底付近まで緩やかに下降し、腹鰭基底から総排泄孔

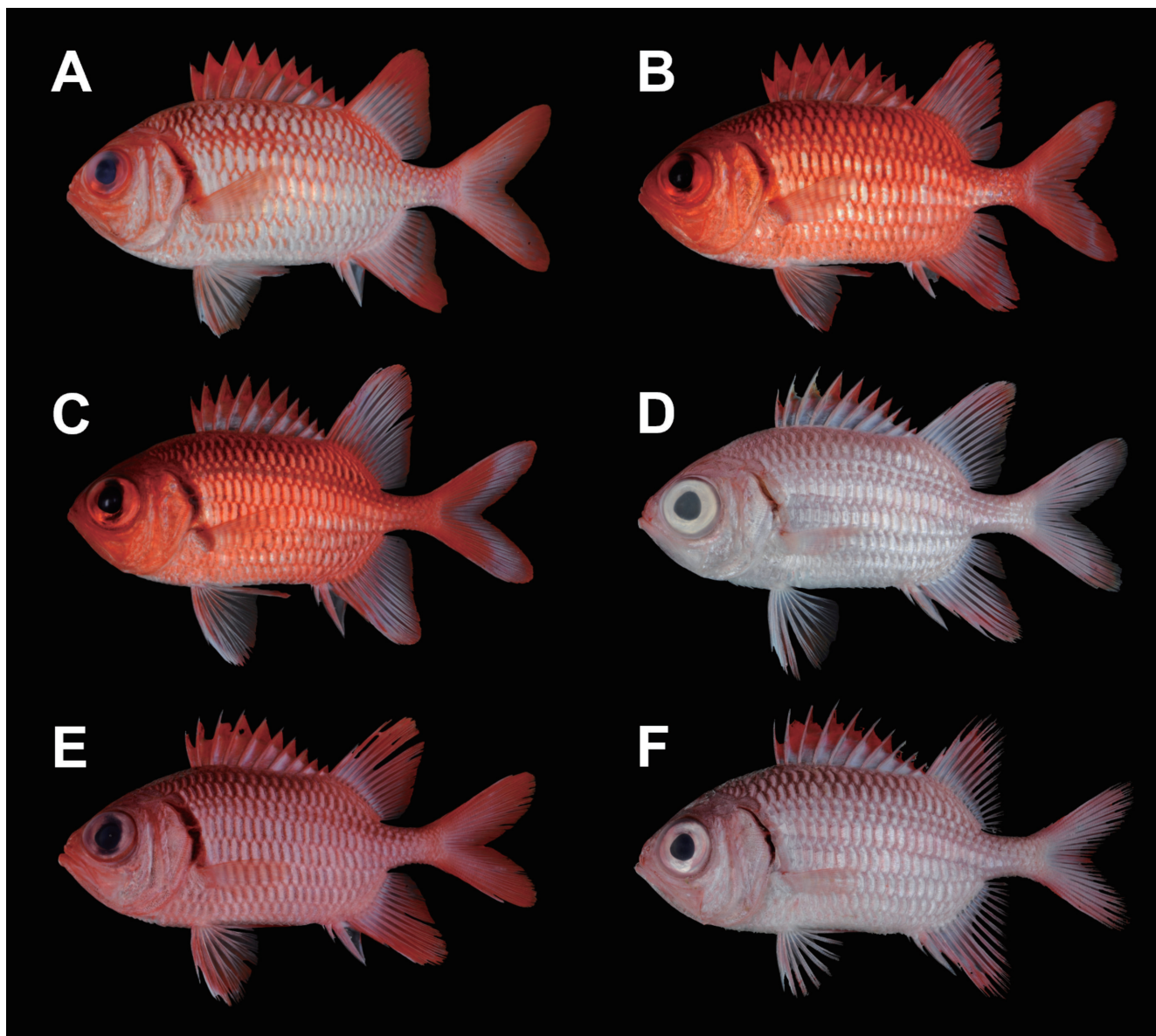
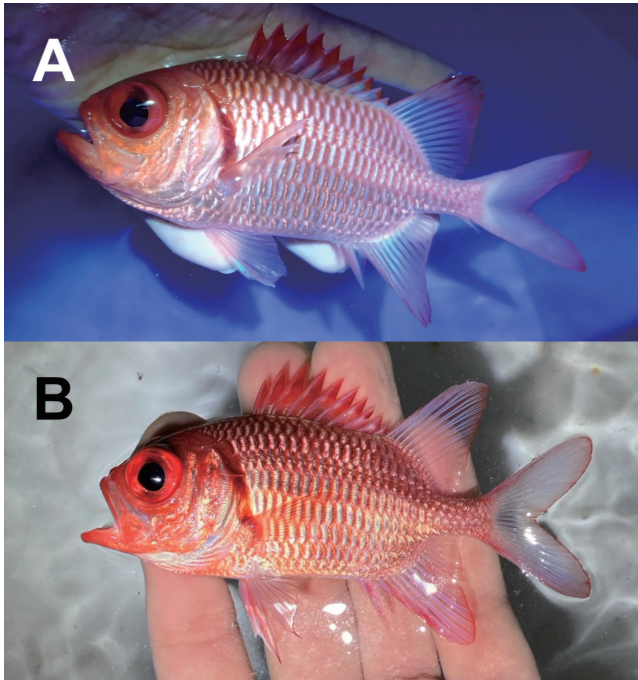


Fig. 1. Fresh specimens of *Myripristis hexagona* from Kashiwa-jima island, Kochi Prefecture, Japan. (A) BSKU 137101, 120.0 mm SL; (B) BSKU 137107, 93.7 mm SL; (C) BSKU 137108, 69.8 mm SL; (D) BSKU 137125, 71.6 mm SL; (E) BSKU 137642, 79.5 mm SL; (F) BSKU 137643, 75.9 mm SL.

までは直線的で、臀鰭起部から尾鰭基底にかけて上昇する。体高は高く、背鰭第2棘条基部で最大。口は端位で大きく、下顎先端は上顎先端よりわずかに前方へ突出する。上顎後端は瞳孔中央直下より後方に位置する。前上顎骨と主上顎骨の後端は幅広く、平滑。下顎先端の歯塊は1対 (BSKU 137101 と BSKU 137107 では2対)。両鼻孔は1対で、眼の前方に位置し、前鼻孔は円形で、後鼻孔は三日月状。鼻孔には小棘がなく (BSKU 137101 では後鼻孔に1本の小棘がある)、鼻骨間の溝はV字状。両眼間隔は広く、中央に1対の骨質隆起がある。眼窩、眼、および瞳孔はそれぞれ円形で、眼径は頭長の13.5–16.6%。鰓耙は細長く、先端は丸い瘤状。前鰓蓋骨と主鰓蓋骨の後縁は小棘状で、主鰓蓋骨後縁中央付近に強大な1棘がある。背鰭起部は第2番目の側線有孔鱗直上に始まり、背鰭棘条部は第4棘条で最も高く (BSKU 137642 では第5棘条、BSKU

137643 では第3棘条が最も高い)、背鰭第10–11棘間で最も低い。背鰭軟条部は臀鰭軟条部の直上に位置し、第1軟条を除き分枝する。総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する。臀鰭起部は胸鰭より後方で、背鰭第10棘条基部直下に位置する。臀鰭軟条は第1軟条を除き分枝し、第2軟条が最長。尾鰭は深く湾入し、二叉型。胸鰭起部は腹鰭起部直上、背鰭起部直下に位置し、胸鰭後端は背鰭第8棘条基部と背鰭第9棘条基部の中間直下に達する。胸鰭軟条は最上部2本と最下部1本を除き分枝する。胸鰭の小鱗は外側に露出した基底部と腋部を被う。腹鰭の起部は胸鰭基部下端直下で、後端は背鰭第9棘条基部直下に位置し、総排泄孔に達しない。左右の腹鰭は近接する。体は硬くはがれにくい櫛鱗で被われ、その後縁には複数の小棘がある。

色彩 生鮮時 (Fig. 1) — 頭部と体は赤色 (BSKU 137101, BSKU 137125, BSKU 137643 では銀色がかった



赤色)で、背側に向かい赤褐色みをおびる。鰓蓋膜は薄い黒色で、主鰓蓋骨の強大棘下を越える。背鰭棘条部は棘と中央より先端の鰭膜が赤色で、それ以外の鰭膜では赤みをおびた白色。背鰭と臀鰭の軟条部は赤色、鰭膜の基底付近と先端付近では赤色、中央付近では白色 (BSKU 137125, BSKU 137642, BSKU 137643 では基底付近が白色、それ以外では赤色)。胸鰭は赤色で、腹側へ向かうほど薄くなる。胸鰭腋部は黒色で、胸鰭基部下端付近は薄い黒色。腹鰭は棘条部と第1軟条間の鰭膜先端が白色、後縁が赤色、その他が薄い赤色。臀鰭棘条部は棘が赤色で、鰭膜が半透明。尾鰭は縁辺と基底から中央付近までが赤色、それ以外では白色 (BSKU 137642 では一様に赤色)。虹彩は瞳孔の上下

Fig. 2. Live individuals of *Myripristis hexagona* from Kashiwa-jima Island, Kochi Prefecture, Japan. (A) BSKU 137101, 120.0 mm SL; (B) BSKU 137125, 71.6 mm SL.

Table 1. Counts and measurements of *Myripristis hexagona*.

	This study Kochi Prefecture <i>n</i> = 6	Eguchi and Motomura (2016) Kagoshima and Okinawa prefectures <i>n</i> = 11
Standard length (SL; mm)	69.8–120.0	44.5–160.7
Counts		
Dorsal-fin rays	XI, 13–14 (14)	XI, 13–15 (14)
Anal-fin rays	IV, 11–12 (12)	IV, 12–13 (12)
Pectoral-fin rays	14–16 (14)	13–15 (15)
Lateral-line scales	27–28 (27)	27–28 (28)
TRac	2.5	2.5
Gill rakers	13–15 + 25–28 = 38–43	13–16 (14) + 23–29 (29) = 36–45 (43)
Measurements (% of SL)		
Body depth	40.9–44.1	35.1–47.2
Body width	19.6–25.3	20.8–22.8
Head length	34.3–37.8	33.0–38.3
Snout length	4.2–5.3	4.3–8.0
Orbit diameter	13.5–16.6	15.1–20.0
Interorbital width	7.3–9.3	6.9–10.2
Upper-jaw length	18.9–21.3	18.8–21.4
Caudal-peduncle depth	9.6–10.1	8.1–10.3
Caudal-peduncle length	13.3–15.5	10.5–16.0
Pre-dorsal-fin length	39.4–40.9	41.3–42.3
Pre-anal-fin length	68.1–69.4	70.7–75.8
Pre-pelvic-fin length	38.8–40.1	41.5–41.9
1st dorsal-fin spine length	8.5–11.6	7.8–12.9
2nd dorsal-fin spine length	13.4–14.8	10.9–16.2
Longest dorsal-fin spine length	16.1–17.6	13.9–27.0
10th dorsal-fin spine length	5.7–6.8	4.5–5.8
11th dorsal-fin spine length	9.0–13.5	8.9–11.1
Longest dorsal-fin ray length	22.1–28.5	22.8–27.0
1st anal-fin spine length	1.9–2.5	1.1–2.2
2nd anal-fin spine length	5.4–7.4	3.2–7.0
3rd anal-fin spine length	12.1–17.7	11.5–17.0
4th anal-fin spine length	13.7–17.2	9.8–16.0
Longest anal-fin ray length	23.6–28.1	22.8–25.6
Caudal-fin length	26.2–32.5	24.3–39.9
Caudal-concavity length	7.7–13.4	—
Pectoral-fin length	24.1–26.6	25.0–36.2
Pelvic-fin spine length	16.2–18.1	14.9–17.6
Pelvic-fin length	21.2–26.8	22.7–28.1

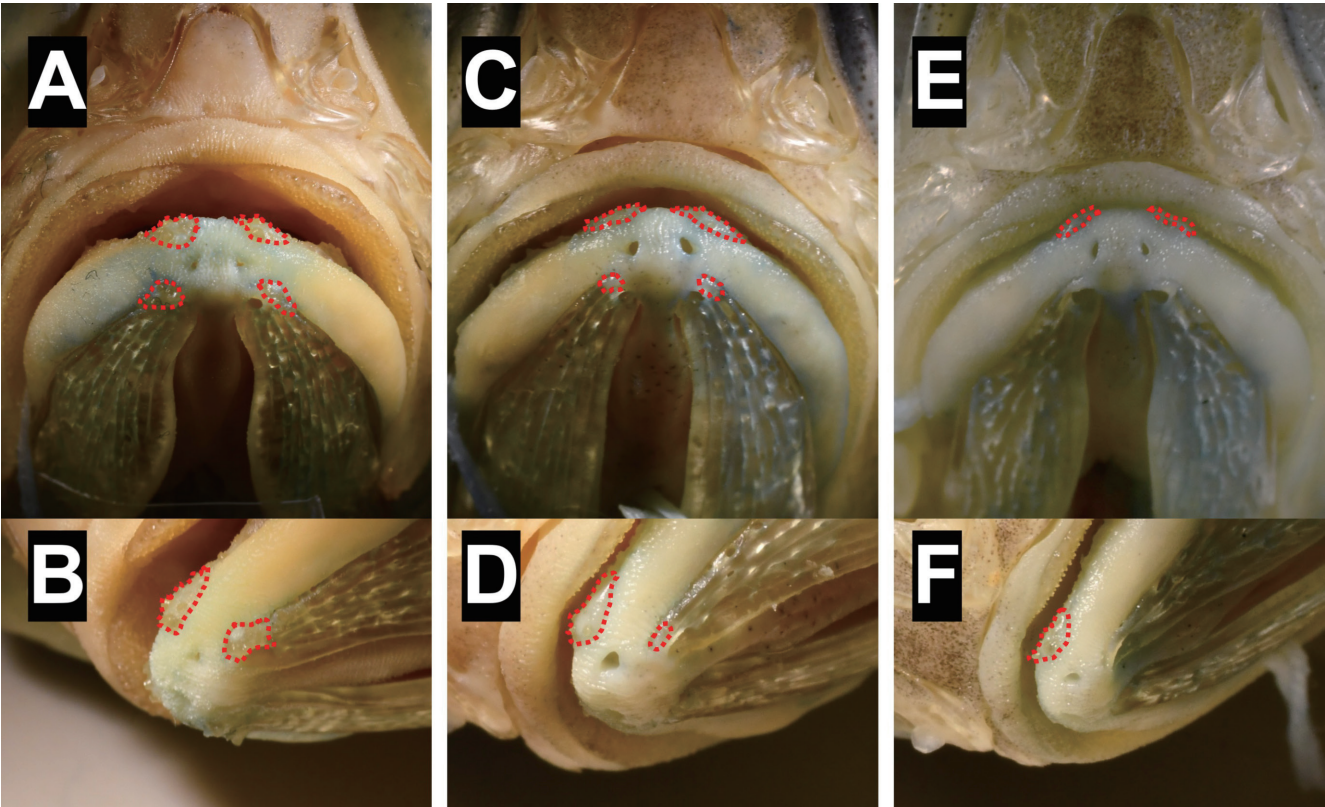


Fig. 3. Anterior (A, C, E) and ventro-lateral (B, D, F) views of tooth patches on lower jaw of *Myripristis hexagona* from Kashiwa-jima island, Kochi Prefecture, Japan. (A, B) BSKU 137101, 120.0 mm SL; (C, D) BSKU 137107, 93.7 mm SL; (E, F) BSKU 137108, 69.8 mm SL.

が黒色で、その他が赤色（BSKU 137125 と BSKU 137643 では赤みをおびた白色）。瞳孔は黒色。

生時（Fig. 2）— 体は銀白がかった赤色で、背側に向かい赤褐色みをおびる。背鰭、臀鰭、および腹鰭の棘条部では棘は薄い赤色で、鰭膜は紫色みをおびた赤色。背鰭、腹鰭、臀鰭の軟条部の鰭膜および尾鰭は、縁辺が赤色で、それ以外では銀白色。上記の以外は、おおむね生鮮時と同様。

分布 アフリカ東岸から南太平洋サモアまでのインド・

太平洋の広域に分布し、日本国内では小笠原諸島、高知県、大隅諸島（竹島、種子島）、奄美群島（奄美大島、沖永良部島）、沖縄諸島（沖縄島）、八重山諸島（石垣島、与那国島）から記録がある（Randall and Greenfield, 1996; 三浦, 2012; 林, 2013; 江口・本村, 2016; Nakae et al., 2018; Motomura and Uehara, 2020; 下瀬, 2021; 萩原, 2022; 望月ほか, 2022; Randall and Heemstra, 2022; Motomura, 2023; 本研究）。

備考 本標本は背鰭棘条数が 11、背鰭第 10 棘条と第

Table 2. Geographic variation of first gill-raker counts of *Myripristis hexagona*.

		Upper limb						Lower limb													
		12	13	14	15	16	17	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
This study	Kashiwa-jima island (Japan)	1	1	4						1	2	2	1								
Eguchi and Motomura (2016)	Ryukyu Islands (Japan)	3	4	2	2			1	1	1		1	2	5							
Randall and Greenfield (1996)	Western Indian Ocean	3	8	1					2	2	5	3									
	Western Pacific Ocean	7	38	36	4				1	9	14	31	22	8							
	New Calednia			2	5	1						1	2	3	2						
	Oceania (Samoa, Fiji and Tonga)			3	18	8	1						1	1	8	11	4	3	2		
		Total gill rakers																			
		36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50					
This study	Kashiwa-jima island (Japan)			1		1	1	2	1												
Eguchi and Motomura (2016)	Ryukyu Islands (Japan)	1	1	1				2	3	2	1										
Randall and Greenfield (1996)	Western Indian Ocean	1	2	2	4	2	1														
	Western Pacific Ocean		1	8	10	21	23	15	7												
	New Calednia							2	1	4		1									
	Oceania (Samoa, Fiji and Tonga)								1	2	6	10	3	5	2	1					

11 棘条の間が完全に離れる, 下枝鰓耙数が 25–28, そして櫛鱗の縁辺に小棘を有する特徴が, Randall and Greenfield (1996) や Greenfield et al. (2017) が示したアカマツカサ属 *Myripristis* Cuvier, 1829 に一致した。また, 本標本は側線有孔鱗数が 27–28, 総鰓耙数が 38–43, 体側鱗の後縁が赤褐色か赤色, 鰓蓋膜が薄い黒色, 生時では背鰭, 臀鰭, 腹鰭の各軟条の先端付近が赤色であることが Randall and Greenfield (1996) に記載されたマルマツカサ *M. hexagona* の特徴とよく一致したため本種に同定された。

Randall and Greenfield (1996) は本種の下顎の歯塊が体長 90 mm までの個体では観察されず, 体長 90 mm 以上で出現し, 次第に発達する成長変異を報告した。記載標本の下顎の歯塊は, BSKU 137101 (120.0 mm SL) と BSKU 137107 (93.7 mm SL) では 2 対, そのほか 4 標本 (69.8–79.5 mm SL) では上側の 1 対のみであり, Randall and Greenfield (1996) の示した下側の歯塊の成長変異に一致した (Fig. 3)。また, Randall and Greenfield (1996) は, 本種の鰓耙数に地理的変異があることも示し, 西インド洋, 西太平洋, ニューカレドニア, そしてオセアニア産の標本でそれぞれ鰓耙数の変異幅が異なるとした。くわえて, 江口・本村 (2016) は琉球列島産の本種の鰓耙数が 13–16 + 23–29 = 36–45 であり, Randall and Greenfield (1996) が示した西太平洋産本種の変異幅より大きいことを示した。記載標本の鰓耙数は 13–15 + 25–28 = 38–43 であり, Randall and Greenfield (1996) と江口・本村 (2016) が示した本種の西太平洋産標本の変異幅に含まれた (Table 2)。

本種の分布は上述のとおりであり, これまでの北限は大隅諸島の竹島であったが, 高知県柏島から得られた標本により, 分布の北限を約 215 km 更新する (望月ほか, 2022; 本研究)。

比較標本 マルマツカサ (3 標本: 体長 97.8–146.8 mm): BSKU 99170, 体長 97.8 mm, フィリピン共和国; BSKU 109916, 体長 146.8 mm, 沖縄県南城市知念, 定置網, 2013 年 3 月 4 日; BSKU 118129, 体長 117.6 mm, 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋港, 釣り, 2015 年 6 月 25 日。

謝 辞

本報告を取りまとめるにあたり, 饗場空璃氏をはじめとする高知大学理工学部海洋生物学研究室の学生諸氏と名古屋大学生命農学研究科水圏動物学研究室の高梨佑真氏には標本の採集と作製・登録にご協力いただいた。高知大学農林海洋科学部の平井秀典氏には標本を寄贈いただいた。以上の方々に深く感謝申し上げる。

引用文献

- 江口慶輔・本村浩之. 2016. 琉球列島におけるイトウダイ科魚類相. *Nature of Kagoshima*, 42: 57–112.
- Greenfield, D. W., J. E. Randall and P. N. Psomadakis. 2017. A review of the soldierfish genus *Ostichthys* (Beryciformes: Holocentridae), with descriptions of two new species from Myanmar. *Journal of Ocean Science Foundation*, 26: 1–33.
- 萩原清司. 2022. 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録 (V) 横須賀市自然・人文博物館及び相模湾海洋生物研究会収集奄美群島産魚類資料目録. 横須賀市博資料集, 46: 1–127, 4 pls.
- 林 公義. 2013. イットウダイ科, pp. 579–591, 1897–1899. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第 3 版. 東海大学出版会, 秦野.
- 平田智法・山川 武・岩田明久・真鍋三郎・平松 亘・大西信弘. 1996. 高知県柏島の魚類相 行動と生態に関する記述を中心として. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, 16: 1–177.
- 松永 翼・橘 皆希・森崎茉優・遠藤広光. 2025. 四国初記録のヨゴレマツカサ (イトウダイ科) とシリキルリスズメダイ (スズメダイ科) を含む高知市春野漁港から得られた魚類 30 種の追加記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 55: 52–62.
- 三浦信男. 2012. 美ら海市場図鑑 知念市場の魚たち. ウェーブ企画, 与那原. 140 pp.
- 望月健太郎・是枝伶旺・佐藤智水・本村浩之. 2022. 大隅諸島竹島から得られた北限更新記録を含む同島初記録の魚類 43 種. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 23: 19–31.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- Motomura, H. 2023. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Tanega-shima and Mage-shima islands in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 536 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 20: 1–250.
- 本村浩之. 2025. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. Online ver. 32. [URL](https://www.kagoshima-u.ac.jp/~fish/) (26 July 2025)
- Motomura, H. and K. Uehara. 2020. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Okinoerabu Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 361 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 12: 1–125.
- 中坊徹次・町田吉彦・山岡耕作・西田清徳 (編). 2001. 以布利黒潮の魚 ジンベエザメからマンボウまで. 海遊館, 大阪. 300 pp.
- Nakae, M., H. Motomura, K. Hagiwara, H. Senou, K. Koeda, T. Yoshida, S. Tashiro, B. Jeong, H. Hata, Y. Fukui, K. Fujiwara, T. Yamakawa, M. Aizawa, G. Shinohara and K. Matsuura. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science*, Tokyo, 52: 205–361.
- Nelson, J. S., T. C. Grande and M. V. H. Wilson. 2016. *Fishes of the world*. 5th edition. John Wiley and Sons, Hoboken. xli + 707 pp.
- Randall, J. E. and D. W. Greenfield. 1996. Revision of the Indo-Pacific holocentrid fishes of the genus *Myripristis*, with description of three new species. *Indo-Pacific Fishes*, 25: 1–61.
- Randall, J. E. and P. C. Heemstra. 2022. Holocentridae, pp. 389–411. In Heemstra, P. C., E. Heemstra, D. A. Ebert, W. Holleman and J. E. Randall (eds.) *Coastal fishes of the western Indian Ocean*. Vol. 2. South African Institute for Aquatic Biodiversity, Makhanda.
- 下瀬 環. 2021. 沖縄さかな図鑑. 沖縄タイムス社, 那覇. 208 pp.